



シニア劇団 波瀾ばんばん座

ばんつぶ便り

第2回本公演 「甘柿しぶ柿つるし柿」 水木洋子 作 ご案内

千葉県初の60歳以上のシニア劇団「波瀾ばんばん座」は、平成24年に立ち上げ、演劇の稽古を市川市内の公共施設、梨の選果場の倉庫などをお借りし、翌平成25年4月に市川市文化会館小ホールにて水上勉・作「飢餓海峡」（吉原廣・演出）で旗揚げ公演を行い、約800名のお客様にご来場いただき、多くの市民スタッフ、市民団体にご協力を頂き華々しく劇団のスタートを飾ることが出来ました。その後も、永井荷風の作品の朗読、山本周五郎作「幽霊貸屋」を寸劇にして市内の施設で無料プレ公演、イベントへの参加などを行い経験を積んでまいりました。

「波瀾ばんばん座」は県内で初めてのシニア劇団というだけでなく、演劇が初めての方も本格的な舞台に立てる、演劇の基礎から学べる稽古、などが話題を呼び市川市内だけでなく、船橋、松戸、我孫子、鎌ヶ谷などからも劇団員として参加しております。

「波瀾ばんばん座」の第二回本公演は、市川に昭和22年よりお住まいになり、創作の拠点とされていた水木洋子さんの作品に挑戦いたします。1969年に放送されました、TBS「水曜劇場」の第一作「甘柿しぶ柿つるし柿」を舞台化したものです。テレビでは、主人公に池内淳子さん、母親役に北林谷栄さん、主人公の姉妹には山岡久乃さん、黒柳徹子さん、中山千夏さんがご出演でした。男性人は児玉清さん、金子信雄さんなど。

旗揚げ公演として取り上げた「飢餓海峡」は作家の水上勉さんがまだ無名の頃、矢切のご自宅から東京の職場へ向かうとき、市川の国府台病院前からバスに乗り市川駅へ向かっていたそうで、市川にゆかりがあり更に、シニア世代の懐かしい映画作品を取り上げたことも話題になりました。今回の水木洋子さんは八幡に今でも「水木洋子邸」としてご自宅が保存公開されており、「甘柿しぶ柿つるし柿」の時代背景が昭和44年ですのでこの作品もまた、シニア世代にとっては懐かしく思い出と共に楽しみいただける作品だと思います。この作品選びも、シニア劇団「波瀾ばんばん座」の特徴といえると思います。

公演チラシの裏面には現在の劇団員の写真が載っておりますが、その周りを飾るセピア色の昭和の匂いがする写真は、劇団員に昭和44年当時の写真を探してきてもらい芝居の雰囲気伝えております。いよいよ「波瀾ばんばん座」第2回本公演の運びとなりました。舞台に立つ役者は全て60歳以上のシニアですが、舞台を支える裏のスタッフはプロだけでなく、市民のボランティアスタッフにも参加してもらい、地域ぐるみで盛り上げてまいります。笑って、泣いてイキイキと生活している昭和の生活感あふれる舞台をどうぞお楽しみください。



旗揚げ公演「飢餓海峡」舞台写真より

劇団員も随時募集しています。来年の舞台と一緒に立ちましょう！
詳細ご希望の方は資料をお送りいたします。ぜひ一度役者に挑戦して下さい

そして、劇団員にはなれないけれどちょっと舞台に興味がある、若しくは、短期間なら参加できるという「シニアお芝居TRY講座」も募集中です。1回のみのご参加もOKです。その他、体操ダンス教室、朗読教室などお気軽に参加頂けるお教室もございます。裏面をご覧ください。



各種 お問い合わせ
 波瀾ばんばん座 (名倉ゆみこ)
 090-6707-4800
 nagunaku@yahoo.co.jp
 HPは検索「波瀾ばんばん座」

不定期便「ばんつぶ便り」はシニア劇団『波瀾ばんばん座』にお問い合わせ頂いた方や、公演をご覧頂きました皆様宛にお送りしております。『波瀾ばんばん座』の活動の様子、公演情報などをお伝えしたいと思っております。

『波瀾ばんばん座』は今後も文化的な活動を通して、シニア世代の方々と共にいつまでも健康でイキイキと生活し、地域の方々とコミュニケーションをより深くし、地域の市民文化発展に寄与することを目的とし活動して参ります。どうぞよろしく願いいたします。